隊員一人一人の真摯な姿が
多くの人の心に安心を与えます

自衛隊でわが国の平和に全力投球

今春、高等学校や大学などをご卒業され、あるいは何年かを社会人として経験された後に、高い志を抱き、夢と希望をもって自衛隊にご入隊・ご入校される皆さま、誠におめでとうございます。ようこそ自衛隊へ！　「（公益社団法人）自衛隊家族会」会員一同、皆さまのご入隊・ご入校を心からお祝い申し上げます。

青野原駐屯地

自衛隊で希望と適性を活かした仕事に挑戦

自衛隊の使命は、日本の平和と独立を維持することです。

国際情勢は、一昨年からのロシアによるウクライナ侵略は現在も続き、中東では、ハマスによるイスラエルへの大規模なロケット弾攻撃によりイスラエルとハマスの紛争が始まりました。国内においては、元旦に発生した能登半島地震などの災害派遣活動を実施しています。

万一、日本が有事に見舞われても、わが国の領空・領海・領土を守り抜き、国民の生命と財産を守るため、国民の見えないところで即座に効果的に対応できるように、海上や航空での警戒・監視や有事に備えた厳しい訓練に励んでいます。

◇　◇　◇

まもなく自衛隊に入隊・入校される皆さまは、やがて国内外において日本の平和と安全を守る組織の仲間として活躍することになるでしょう。

自衛隊は、皆さまのご入隊・ご入校を心待ちにしています。その気持ちを陸海空の各幕僚監部の人事教育部長からいただきました。ここにご紹介します。

災害派遣　人命救助（陸自）

陸上自衛隊は「人を大切にし、育てる」組織です。隊員がやりがいを持って勤務できるよう、ワークライフバランスや福利厚生の充実を推進しております。また、入隊後の段階的な教育などを通じ、さまざまな資格の取得や能力を向上することができます。皆さまの入隊を隊員一同心待ちにしております。

（陸幕・藤岡陸将補）

国際貢献　海賊対処行動（海自）

かつてないほど激しく揺れ動く安全保障環境の中、四方を海で囲まれるわが国の安全を守るため、海上自衛隊を選ばれた新入隊員の皆さまに心から敬意を表します。

海上自衛隊の大切な一員となる皆さまを歓迎するとともに、部隊で一緒に勤務できる日がくることを心待ちにしております。

（海幕・金嶋海将補）

防空任務　スクランブル（空自）

阻むもののない紺碧の空で活動する航空自衛隊は、今年で創設70周年を迎えます。そしてわれわれの活動は宇宙にも広がり、全ての隊員が「誇り」と「やりがい」をもって活躍できる幅広いフィールドがあるのが航空自衛隊です。

航空自衛隊の力の源は多様性にあります。個性溢れる皆さまと新たな航空自衛隊を共に創造していきたいと思います。入隊・入校を心待ちにしております。

（空幕・白井空将補）

防衛省、自衛隊は、皆さまのご家族を含め、全国民が安心して暮らせる未来を創るための組織です。

皆さまは、そのことを誇りとやりがいとし、夢と希望をもって新たな目標にチャレンジしてください。

同期の「絆」こそが自衛隊の強さ

25km行進訓練を完歩して（陸自）

陸海空自衛隊の仕事内容は多岐にわたっています。

それは自衛隊が与えられた任務を果たすため、さまざまな「機能」から成り立っているからです。

そして、その「機能」を支えているのは、一人一人の自衛隊員が持つ「能力」「技術」「経験」です。

陸海空自衛隊には、皆さまの希望と適性を活かせる得意分野の「仕事」が用意されています。

皆さまが希望する「仕事」が必ず見つかります。自衛隊でしかできない仕事が、皆さまを待っています。

入隊後、毎日集団で行動し、厳しい教育を受けていると、皆さまには親しい友人と仲間が見つかると思います。そこには新隊員同士の新たな「絆」が芽生えることでしょう。

この「絆」は皆さまの自衛隊生活にとって、かけがえのないものになると思います。

そしてこの「絆」こそが自衛隊の強さのゆえんなのです。

このような教育と生活を通じて、いつの間にか、ご家族や先生たちが驚くような速さで「立派な自衛隊員」になることでしょう。

どうぞ安心して自衛隊の門をくぐってください。

皆さまの着隊を心待ちにしている先輩隊員の人たちとともに「隊員と家族をつなぐ」自衛隊家族会会員も皆さまのご入隊・ご入校を心から大歓迎いたします。

共に自衛隊を支えましょう

ご入隊・ご入校、誠におめでとうございます。そして大切に育てられたご子息・ご息女をわが国の平和と独立を守る自衛隊に送り出していただくことに心から敬意と感謝を申し上げます。これを機に、ご家族の皆さまにはぜひとも「（公社）自衛隊家族会」の一員となり、力を合わせて自衛隊を支えていただきたいと願っております。会員一同、皆さまのご入会を心からお待ちしております。

研修で自衛隊について知識を深める

「公益社団法人自衛隊家族会（自衛隊家族会）」は「自衛隊員の心の支えになりたい」との親心から全国で自然発生的に結成された「全国自衛隊父兄会」が、平成29年1月から会の名称を「自衛隊家族会」に変更し、再出発した組織です。

自衛隊家族会は、自衛隊員の家族という共通の立場で「自衛隊員に最も身近な存在」であることに誇りを持ち、国民の先頭に立って、力を合わせて自衛隊（自衛隊員・隊員家族）を支え、共に助け合うことを誓っています。

現在、わが国を取り巻く安全保障環境は、北朝鮮や中国の行動などさまざまな不安定要因がより顕在化・先鋭化し、一層厳しさを増しています。

このような環境で日本の平和を担う自衛隊員を誇りに思い「家族の支えが一番の励み」との隊員の声に応え、国民の先頭に立って自衛隊員および隊員家族の「真の支え」となることを、共に目指そうではありませんか。

◇　◇　◇

自衛隊を理解することは家族としての第一歩で、とても大事なことです。全国各地の家族会員（約７万人）は近傍の陸海空自衛隊の見学や研修、そして自衛隊が開催する各種行事に積極的に参加して自衛隊に関する知識を深め、隊員の仕事を理解することができます。

特に、ご子息・ご息女が勤務する部隊・駐屯地・基地などを訪問する機会もあり、わが子らの勤務・訓練状況などを直接確かめることもできるでしょう。

また、各県自衛隊家族会が主催する講演会や講話に参加するとともに、毎月の「おやばと」紙購読により、わが国の防衛や自衛隊に対する知識も増え、理解を深めることができます。

さらに、家族会は、隊員の募集や就職援護の協力に加え、自衛隊員が災害派遣や国際平和協力活動などの任務に従事し、長期不在する時などの「家族支援」にも本格的に協力しています。

このように家族会員は「自衛隊員に最も身近な存在」としての強い「絆」を深め、一致団結して活動しています。そして自衛隊家族会の存在を隊員の人たちもきっと誇りに感じているはずです。

皆さまの自衛隊家族会へのご入会を心からお待ちしております。

霧雨煙る中、激励する家族会員

入会手続きにはさまざまな方法があります。

最寄りの家族会員から「入会申込書」を入手して記入し、手渡すのが一番簡単です。

「自衛隊家族会パンフレット」の入会申込葉書に必要事項を記入して会員に手渡す、または郵送して申し込みます。自衛隊家族会ホームページの「入会案内」からの申し込みも可能です。

細部は最寄りの家族会員、各県・地区家族会、または下記までお問い合わせください。

募集広報活動に協力

石川

災害派遣活動部隊を激励

「自衛隊　がんばれ」の横断幕2枚を掲示

金沢駐屯地正門に掲示した横断幕

石川県自衛隊家族会（中正章会長）は、１月１日に発生した能登半島地震の災害復旧に対して、災害派遣活動の実動部隊が駐屯する金沢駐屯地（司令・田村秀樹１等陸佐）を１月９日に訪問して、中会長および会員４人が飲み物５００本を届け、今後、長引くであろう、救助、復旧、支援活動に対し激励をしました。

さらに、駐屯地正門の左右に災害派遣活動に出発する隊員と帰隊する隊員に励みになるよう「自衛隊　がんばれ」の横断幕２枚を取り付けました。

また、１月12日には、航空自衛隊小松基地（司令・村上博啓空将補）にも飲み物５００本を届け、人命救助や広域応援部隊等の輸送活動に対し、中会長および近隣支部会員と共に激励を行ってきました。

石川県自衛隊家族会は今後も、自衛隊の活動などに併せ、激励と支援活動を行っていきます。

（石川県自衛隊家族会
事務局長　俵　秀雄）

横断幕の前で激励品を手渡す

小松基地司令に激励品を手渡す

家族会への入会手続きは？

（公益社団法人）自衛隊家族会事務局

入会手続きにはさまざまな方法があります。最寄りの家族会員から「入会申込書」を入手して記入し、手渡すのが一番簡単です。「自衛隊家族会パンレット」の入会申込葉書に必要事項を記入して会員に手渡す、または郵送して申し込みます。

自衛隊家族会ホームページの「入会案内」から申し込むことも可能です。

詳細は最寄りの家族会員、各県・地区家族会、または下記までお問い合わせ下さい。

〒162-0845 東京都新宿区本村町5-1
TEL:03-5227-2468
FAX:03-5227-2473
専用線:8-6-28863
メールアドレス:
　jkazokukai@jkazokukai.or.jp
ホームページ:
　http://www.jkazokukai.or.jp/

編集後記

▽元日に発生した能登半島地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福と被害にあわれた皆さまにお見舞い申し上げます。また、献身的に災害派遣活動に従事されている自衛隊員の皆さまに心より感謝申し上げます。▽論壇では「台湾総統選と米中関係の注目点」について、茅原教授に寄稿いただきました。１月の台湾総統選の結果が米中関係に与える注目点について述べられています。ご一読ください。▽８面はご入隊・ご入校特集です。ご本人にもご家族にも１歩を踏み出す助けになればと思います。▽７面「シニアの鉄人」では、海自ＯＧの竹本三保さまからの寄稿です。第２の人生へのチャレンジです。見習いたいものです。